

令和6年度 学校評価報告書

学校番号(中32) 長崎市立(小ヶ倉中)学校

1 教育目標

心豊かで、自ら考え行動できる生徒の育成
【校訓】 自主 勤労 敬愛
【経営スローガン】 「努力夢現」～努力を続け、夢や目標が実現・達成できる学校～

2 学校経営方針

「多様性を尊重し、社会を生き抜く力を育む」
多様な社会を生き抜くために、主体性があり自己肯定感の高い生徒を育ていく
→「幸せに生きる力」の育成～次のステージで輝くために今を大切に～
そのために、
①教育のベクトルを合わせる
②教え伝える教育と自ら調べる教育の調和を図る
③学校は「失敗が許される場所」であることを徹底させる
④目標は乱しすぎず、成功させるための手段を考えさせる

3 重点目標

- (1) 学力向上の推進
- (2) 生徒指導・教育相談の充実
- (3) 健康・安全教育の推進
- (4) 教育環境の整備
- (5) 開かれた学校づくりの推進
- (6) 働き方改革に向けた職場づくり

4 自己評価

領域	項 目	質 問 内 容	アンケート結果			分析及び改善策
			(肯定的割合・%)			
			児童 生徒	保護者	教職員	
学校経営	教 育 目 標	教育目標を達成している	97	87	100	教育目標の達成は生徒の97%をはじめ非常に高い結果となった。組織運営・業務の改善の項目は、職員の分掌の自覚と明確化に課題が残る。今年度からのチーム担任制におけるそれぞれの役割等においても同様であり、次年度は新メンバーを含め学年や校務分掌内での役割の範囲について、年度初め共通理解を行う必要がある。
	学 校 の 雰 囲 気	明るく楽しい雰囲気である	97	89	69	
	愛 校 心	本校が取り組んでいる教育活動に、満足している。	96	90	81	
	組 織 運 営	校務分掌は責任体制が明確で、適切に機能している			44	
	業 務 の 改 善	校務の縮減・効率化等、業務の改善を推進している			63	
心の教育	生活・生徒指導	ルールやマナーを身に付けている	94	90	81	全体的には高めの数値だが「挨拶」に関しては生徒・保護者・教職員との受け止めに隔たりがある。基準が違うことが見える。継続的な実施ができるよう専門委員会や生徒集会において自分たちが目指す姿を明確にさせていく必要がある。
		挨拶をよくしている	94	89	69	
		自分で考え、足りないところや失敗もするけれど、前向きに頑張っている。	90	89	81	
		生徒の悩みや相談に親身に対応している。	92	89	100	
	いじめ防止対策	いじめ防止やいじめ根絶のためのアンケートや教育相談、指導をしている。	94	80	94	
	人 権 教 育	「生命や人権を尊重する心」を育てている。	97	94	100	
	平 和 教 育	平和の大切さを感じ、その思いを発信しようとしている。	94	92	81	
	特 別 支 援 教 育	生徒一人一人の様子や事情に応じて、指導したり、対応したりしている。	94	87	100	
確かな学力	特 色 あ る 学 校 づ く り	地域と協力し、伝統・校風を大切にしている教育を行っている。	94	93	75	学習・生活指導では、クロムブックを活用し、教科の問題や課題への取り組み、自主的・計画的な家庭学習計画を支援した。保護者に対してもその利用状況を伝達している。しかし活用については十分でない生徒も存在するため、折に触れ育友会やテトル等で今後も伝えていく必要がある。「読書に親しむ」の項目は低い数値となった。特に保護者の数字は低い。しかし、生徒の読書への関心が低いかはこの数字だけでは見とれない。クロムブック活用や検索機能等の場面が増えたことによる変化でもあるかもしれない。「キャリア教育」についてもその充実に向けては計画的に進めていくことが求められている。
	学 習 指 導 ・ 教 育 課 程	わかりやすく、ためになる授業づくりに努めている。	95	86	100	
		自主的に、意欲的に授業に取り組んでいる。	91	79	94	
		自分に必要な学習を自覚し、粘り強く、計画的に取り組んでいる(塾等での学習を含む)。	81	73	63	
		学校の授業以外で2時間以上学習している。(タブレット学習、塾等での学習、学校での自習を含む)	67	44	31	
	読 書	読書に親しんでいる。(Web版や図鑑等を含みます)	54	30	44	
	GIGA	GIGAスクール構想をふまえ、一人一台端末の活用を図っている。	88	94	81	
	キ ャ リ ア 教 育	将来の自立に向けて適切に指導している	92	79	75	
長崎の文化や歴史を誇りに思い、ふるさとが好きである。		94	73	63		

健やかな体	保 健 ・ 衛 生	病気やけがの予防に努め、健康・安全に関する教育を行っている。	99	93	100	全体的な数値は高い。しかし「体力向上」における教師の数値はやや低い。学年でも全体でも、体力づくりや部活動への参加意欲に二極化がみられるためではないかと分析する。まだ向上できる余地が残るとの判断である。
	体 力 向 上	自分のスケジュールや健康を自分で管理し、遅刻や欠席をしないで登校している。	91	87	88	
		学校行事や体育的活動、部活動に意欲的に取り組んでいる。	96	90	88	
		登下校の歩行運動等も含め30分以上の運動をして体力向上に努めている。	89	83	75	
	食 育	食に関する(給食指導含む)教育を行っている。	95	93	88	
信頼される学校	安全管理	施設等が壊れていない、壊れても修理するなど生徒の安全に気を配っている。	95	94	88	全体的に高い数値である。施設面での不具合や安全の管理には即時対応してきた。学校外との情報の共有や学校の様々な情報・連絡毎も毎日連絡してきた。テトルでの伝達は期を逃さず配信できた。
		安全に関する教育を行っている。	99	92	88	
		安全に気を付けて生活している。	98	92	81	
	情 報 提 供	各種通信やホームページ、一斉メール等でよく情報を発信している。	97	99	100	
	P T A ・ 地 域 と の 連 携	学校と家庭・地域は、よくコミュニケーションをとり連携している。	95	93	100	
教育環境	職 員 資 質 向 上	校内研修が遂行されたり、教職員間の情報提供等で、職員の資質が向上している。			81	職場環境については1と同様で校務の効率化、役割分担の状況から影響していると考えられる。年度初めに担当者の明確化と運営進捗状況を共有することを目指したい。
	環 境 整 備	校内がきれいに保たれ、学習しやすい雰囲気で学校施設や道具は整備されている。	96	94	88	
	職 場 環 境	働きやすい職場づくりに積極的に取り組んでいる。			69	

5 自己評価のまとめ(成果・課題・対策等)

・保護者や生徒がより具体的に評価できる評価項目を明確に示した。
・生徒は36項目中26項目について90%以上が肯定的評価をしており、学校生活への高い満足度を示す結果となった。
・教職員の「組織運営」「業務の改善」「職場環境」の3項目はそれぞれの項目同士、内容が重なる部分があり、同様の数値となった。
・家庭学習の質問「授業以外で2時間以上学習している(タブレット学習、塾等での学習、学校での自習を含む)」を設定したが、三者それぞれの評価に隔たりがある。自主的な計画づくりや、自分に合わせた学習方法などの検討を重ねさせ、今後の取り組みを工夫・改善させたい。

6 学校関係者評価

・クロムブックの持ち帰りで学習の幅が広がることに期待する。
・小学校で落ち着いていなかった生徒が落ち着いて授業を受けている。
・地域での交通安全・見守りを行う時に会釈して挨拶をしたり声をかけてくれる生徒がいるのがよい。中にはごみを拾いながら登校している生徒がいて感心した。半面、学校に送れる時間に急ぎもせず、とぼとぼ歩く生徒が気になる。
・スマホ等の所持率や活用が気になる。家庭でのルールづくり、適切な利用についての継続指導が必要ではないか。大人でも子供たちに追いついていない現状が見える。(学校ではSNSノート長崎など教材になるものの普及が進み、随時授業でも扱っている)

7 対策等の見直し(学校関係者評価を受けて)

・自己評価、学校関係者評価(民生委員/学校評議員)を受けて、令和7年度に向けて修正・対応すべきもの、時間をかけて検討すべきものを精査し、教育活動の充実を目指す。
・数値の低かった項目についてはその向上のため、特に重点を置き、令和7年の学校経営を提示し、教職員の共通理解と共同実践を目指す。
・学校で取り組んでいる教育活動を保護者へ周知する場面を見出す。判断できない・否定的割合をなくしていく方法を検討。(例：学校だより・HP更新・テトルの活用 等)
・学習面に関してはフォーサイト・キュビナ等を活用した家庭学習の自主的な計画づくりや行い方を再度指導していきながらその継続や取り組みの評価なども検討していく。

※「4 自己評価」の「項目」欄には、領域毎に空欄を設定している。ここには、重点目標に即し、学校独自の「評価項目」並びに「質問内容」を追加することができる。
＜参考例＞ 読書活動、豊かな体験活動、部活動 等

※「4 自己評価」のアンケートは、4段階で回答するようになっているが、そのうち上位2段階を肯定的回答ととらえ、その割合(整数値のみ)を集計する。